

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生理学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 水曜3,4限目	教室名	2校舎301
担 当 教 員	志賀 健	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
授業の内容生理学入門(総論)、植物性機能および動物性機能の生理学と進む。およそ次の通り: 1. 生理学総論(生理学の基礎、および細胞生理学) 2. 植物性生理機能・・・血液、呼吸、循環、体液、消化吸収、栄養代謝、体温、排泄、内分泌。 3. 動物性生理機能・・・興奮性細胞、筋肉、神経系、感覚系、高次神経活動。内容としては、主としてヒトの正常状態の生理機能を述べるが、時には病態生理についても簡単な説明を行う						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
生理学 南江堂						
《授業外における学習方法》						
解剖学的理解も必要になりますので、解剖学と生理学の教科書を併用して復習してください。						
《履修に当たっての留意点》						
予習と復習は必須です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	細胞を理解できている。	教科書	授業内容の復習	
	各コマにおける授業予定	生理学への入門(細胞、単細胞と多細胞、体液と「ホメオスターシス」)①				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	ホメオスタシスを理解できている。	教科書	授業内容の復習	
	各コマにおける授業予定	生理学への入門(細胞、単細胞と多細胞、体液と「ホメオスターシス」)②				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液を理解できている。	教科書	授業内容の復習	
	各コマにおける授業予定	血液1(一般事項、血漿、造血、赤血球、白血球、免疫)				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液を理解できている。	教科書	授業内容の復習	
	各コマにおける授業予定	血液1(一般事項、血漿、造血、赤血球、白血球、免疫)				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液を理解できている。	教科書	授業内容の復習	
	各コマにおける授業予定	血液2(止血、血液凝固、血液型)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液を理解できている。	教科書	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	血液2(止血、血液凝固、血液型)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環を理解できている。	教科書	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	循環1(一般事項、構造とポンプ機能、電気活動と心電図)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環を理解できている。	教科書	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	循環1(一般事項、構造とポンプ機能、電気活動と心電図)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環を理解できている。	教科書	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	循環2(血管系、血行力学、血圧)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環を理解できている。	教科書	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	循環2(血管系、血行力学、血圧)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環を理解できている。	教科書	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	循環3(循環系の調節、局所循環) <小テスト1>		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環を理解できている。	教科書	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	循環3(循環系の調節、局所循環) <小テスト1>		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸を理解できている。	教科書	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	呼吸1(一般事項、呼吸運動、換気量)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸を理解できている。	教科書	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	呼吸1(一般事項、呼吸運動、換気量)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸を理解できている。	教科書	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	呼吸2(血液ガス運搬、呼吸の調節)		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	生理学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時限	前期 水曜3,4限目	教室名	2校舎301
担当教員	志賀 健	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》 授業の内容生理学入門(総論)、植物性機能および動物性機能の生理学と進む。およそ次の通り: 1. 生理学総論(生理学の基礎、および細胞生理学) 2. 植物性生理機能・・・血液、呼吸、循環、体液、消化吸収、栄養代謝、体温、排泄、内分泌。 3. 動物性生理機能・・・興奮性細胞、筋肉、神経系、感覚系、高次神経活動。内容としては、主としてヒトの正常状態の生理機能を述べるが、時には病態生理についても簡単な説明を行う						
《成績評価の方法と基準》 1. 定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 生理学 南江堂						
《授業外における学習方法》 解剖学的理解も必要になりますので、解剖学と生理学の教科書を併用して復習してください。						
《履修に当たっての留意点》 予習と復習は必須です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液ガスの運搬と呼吸の調整を理解できている。	教科書	授業内容の復習	
		各コマにおける授業予定	呼吸2 (血液ガス運搬、呼吸の調節)			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎臓の働きを理解できている。	教科書	授業内容の復習	
		各コマにおける授業予定	腎臓1 (一般事項、糸球体での濾過と尿細管での再吸収・分泌)			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎臓の働きを理解できている。	教科書	授業内容の復習	
		各コマにおける授業予定	腎臓1 (一般事項、糸球体での濾過と尿細管での再吸収・分泌)			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎臓の働きを理解できている。	教科書	授業内容の復習	
		各コマにおける授業予定	腎臓2 (再吸収の調節、体液の調節)、 排尿			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎臓の働きを理解できている。	教科書	授業内容の復習	
		各コマにおける授業予定	腎臓2 (再吸収の調節、体液の調節)、 排尿			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	体液を理解できている。	教科書	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	体液 2> <小テスト		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	体液を理解できている。	教科書	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	体液 2> <小テスト		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化と吸収を理解できている。	教科書	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	消化・吸収1（一般事項、口腔、食堂、胃、小腸）		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化と吸収を理解できている。	教科書	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	消化・吸収1（一般事項、口腔、食堂、胃、小腸）		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化と吸収を理解できている。	教科書	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	消化・吸収2（膵液、胆汁、大腸、排便）		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化と吸収を理解できている。	教科書	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	消化・吸収2（膵液、胆汁、大腸、排便）		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化と吸収を理解できている。	教科書	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	消化・吸収3（肝臓）、 栄養・代謝（栄養素、エネルギー代謝、運動）		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化と吸収を理解できている。	教科書	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	消化・吸収3（肝臓）、 栄養・代謝（栄養素、エネルギー代謝、運動）		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	体温を理解できている。	教科書	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	体温		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期履修内容の国家試験同等問題が解けるようになる。	教科書	授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	前期まとめ		